



**Data** 2022-32  
監督: マイケル・ベイ  
出演: ジェイク・ギレンホール/ヤ  
ーヤ・アブドゥルニマティー  
ン2世/エイザ・ゴンザレス

## 👁️👁️ みどころ

ド派手なカーチェイスを“売り”にした映画は『TAXI』シリーズや『トランスポーター』シリーズ等、数多い。『007』シリーズも、あっと驚く新兵器を装填したスーパーカーとそれを操るジェームズ・ボンドの活躍が約束ゴトだ。しかして、人命救助を第一任務とする“アンビュランス”（救急車）によるカーアクションは如何に？

銀行強盗と救急救命士は相矛盾する概念だが、“破壊王”たるマイケル・ベイ監督は見事にそれを融合！ロサンゼルス的高速道路に大包围網が張られる中、人質を乗せた“アンビュランス”の大脱走は？

コロナ禍、リモコン手術のあり方が注目されているが、本作ではその“実況中継”が初公開される(?)ので、それにも注目！頭を空っぽにして楽しむには、こりゃ最適！

— \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \*

### ■□■カーアクションあれこれ！アンビュランスとは？■□■

カーアクションを売りにした映画は、『TAXI』シリーズや『トランスポーター』シリーズ等たくさんある。『007』シリーズにも当然、ド派手カーアクションが登場するが、それらに共通する注目点は、主人公が乗りこなすスーパーカーの性能だ。『007』シリーズでは当初から“武器係”である“Q”がジェームズ・ボンドに提供する新兵器付きのスーパーカーが話題を呼んできた。

しかして、本作も“破壊王”と呼ばれるマイケル・ベイ監督のアクション巨編だが、タイトルの「アンビュランス」とは“救急車”のことだ。救急車は人命救助を第一目的とするものだから、どの国でもサイレンを鳴らしながら他車に優先して走ることができる。そんな救急車が、本作ではド派手なカーアクション、カーチェイスを・・・？

## ■□■銀行強盗 VS 救急救命士。2つの物語をいかに融合？■□■

カーチェイスを売りにした映画でも、それなりのストーリーは必要。そこで本作では、国のために軍人として戦いながら、今は病に侵された妻が手術すら受けることができずに焦っている黒人男ウィル（ヤーヤ・アブドゥル＝マティーン2世）が登場。アレレ、本作は『ジョンQ』（02年）（『シネマ2』137頁）と同じような、社会派問題提起作？一瞬そう思わせたが、結局は、彼が兄ダニー（ジェイク・ギレンホール）のグループと共に、“成功まちがいなし”という銀行強盗に加担するストーリーになっていく。ウィルは元軍人だから、車の運転はもちろん武器の扱い等々も万全だから、彼が仲間に加われば、まさに鬼に金棒だ。

他方、コロナ禍でがぜん脚光を浴びているのが救急車だが、本作導入部では救急救命士の女性キャム（エイザ・ゴンザレス）の何ともキビキビした働きぶりが描かれる。キャムの相棒になる若い男性の救命士はキャムに一目惚れのようなのだが、キャムは目下、男には目もくれず、仕事一筋・・・？しかし、そんな全く脈絡のない2つの物語を、マイケル・ベイ監督はどうつなげていくの？それは、きっと・・・？

## ■□■人質の有効活用は？犯人の要求は？■□■

高倉健主演の『新幹線大爆破』（75年）はメチャ面白い映画だったが、同作の面白いアイデアは、新幹線とその乗客を“人質”として“ある要求”を突きつけたことだ。去る2月26日に観た『ゴヤの名画と優しい泥棒』（20年）では、犯人は盗んだゴヤの名画を返す条件として、「BBC テレビの受信料を無料にせよ！」と要求したが、さて、『新幹線大爆破』での犯人の要求は？

それは本作とは無関係だが、本作導入部の2つのストーリーがつながるのは、ちょっとした手違いのため、銀行強盗の現場が大混乱となり、ダニーとウィルがキャムと重症を負った警察官を人質にして、アンビュランス（救急車）で“大脱走”を図ることになってしまったためだ。

さあ、ダニーとウィルは、この人質をいかに有効活用して、捜査網からの脱出を目指すの？本作の舞台は大都会ロサンゼルス。道路網を支配するのはFBIや警察だから、その脱出は不可能に近いのでは？

## ■□■AI活用とリモコン手術の実況中継に注目！■□■

AIの進歩とコロナ禍で、リモコン手術のあり方が注目されているが、本作では警察の追跡から逃走中の救急車内で、その生々しい実況中継が行われるので、それに注目！キャムは、あくまで救命士で医師ではないから、手術はできない。しかし、スマホを使って元カレからのリモコン指示があれば、非常事態下、難しい手術だって施術OK・・・？

多分、映画には初登場の、そんなドキドキシーンをしっかり堪能したい。

## ■□■道路の包囲網は完璧？いやいや本作では！！■□■

私は、ここ20年近くは車の運転と無縁になっているが、かつては高速道路が張り巡らされた大阪周辺の道路を疾走していた。そんな私の考えでは、いくらロサンゼルスが大阪以上に高速道路が張り巡らされた大都会だと言っても、警察やFBIがヘリコプターまで動員して、逃走する1台のアンビュランスを捕捉することは簡単なこと。そのため私は、マイケル・ベイ監督による本作後半の展開を心配していたが、それは杞憂だった。彼は、前述したリモコンによる手術をはじめとして、様々なアイデアで興味深く後半のカーアクションを進めていくので、それに注目！なるほど、これなら本作がマイケル・ベイ監督の“最高傑作”と呼べるかどうかは別として、星4つは当然！

2022（令和4）年3月30日記